

南ユタ大学短期プログラム 報告書

今回南ユタ大学短期プログラムに参加してみて思ったこと、気を付けた方がいいことなどを記述していこうと思います。

1. 出発する前

- アメリカに行くためには ESTA 申請というものが気になるので、これをちゃんと済ませておくこと。念のため最後の確認画面は印刷しておくこと。なお基本的には 14 ドルしかかからないため、それ以上のお金を請求してくるウェブサイトは仲介者があるものであることに注意する必要があります。
- パスポートを持っていない人は急いで作った方がいいです。パスポート申請をしてから出来上がるまでに 1~3 週間くらいかかってしまうのでそこら辺も注意するように。
- プログラム費は一括で払った方が手数料が一度しかかからないのでお得です。その他のお金もできるだけ早めに支払いましょう。
- 予防接種が忘れがちなので忘れないように気を付けてください。
- クレジットカードを持っていない人は早めに作った方が賢明です。出来上がるのに 1 か月くらいかかってしまうので。アメリカはほとんどクレジットカード社会です。持っていないとかなり不便だと思います。
- 大学の国際課や南ユタ大学は基本的に連絡が遅いです。早めに行動したり、先読みをして準備しておくべきです。ギリギリまで何も言われないうことなど何度もあるので臨機応変に対応できるようにしておきましょう。
- スマホの設定について考えておきましょう。Wi-Fi 環境下以外では原則、海外では使えません。ポケット Wi-Fi をレンタルするにしても日本のポケット Wi-Fi は海外で使えないことがほとんどなので注意してください。ちなみに私は Wi-Fi 環境下だけでうまくやりました。あとアプリで『世界データ定額』というものがあります。980 円/24 時間と結構高めではありますが、これがあると海外でも Wi-Fi 環境下でなくても日本で 4G や LTE 回線を使うようにスマホを使うことができます。このアプリを念のためにスマホに入れておくと役立ちます。

2. 荷物について

- 衣類 (5~7 日分くらいでよい。ただし、乾燥地帯であるので夜はすごく冷える。思ったよりも多めに長袖と長ズボンを持って行った方がいいです。あとやたら外に連れ出されるので汚れてもいいものの方がいいかもしれません。)
- サンドル (家で履く用と海辺で履く用と二つあると便利です。ただし少し高くてもいいならアメリカで買うのもアリです。)
- 薬 (日本の薬はやはり良い。痛み止めと整腸剤と軟膏は確実に持っていくべき。乾

乾燥地帯ということもあり、マスクやリップクリーム、日焼け止めはほぼ必須です。)

- タオル (衣類についても同じことが言えるが、汚れてもいいモノを持って行った方がよい。いろいろなアクティビティを行うのでかなり汚れる。またホストファミリーの洗濯ミスなども考えられるので、あまり大切な服やタオルはもっていない方が吉です。)
- ホストファミリーのための日本の食品 (自分たちがホストファミリーに日本食をふるまわなければならないというほぼ義務? みたいなものがあります。その時に日本からバックのうどんやら焼きそばやらを持ってきておくとかかなりおいしく出来上がります。ユタのスーパーにも売っていますが高い上においしくありません。)
- 自分のための日本の食品 (日本食が恋しくなります。そんなときにインスタント味噌汁やチンする五目御飯のようなものを持っておくとかかなり便利です。あとカップラーメンも 1, 2つ持ってくと良いでしょう。)
- 充電コードとモバイルバッテリー (スマホはよく使用する割に充電できるタイミングがなかなかなかったりします。あった方がいいです。ちなみに飛行機では座席に USB 端子が差し込める穴があるので飛行機内で携帯の充電はできます。)
- A4 バインダー (教室外でメモを取る必要のあるアクティビティがあるので、バインダーがあると役立ちます。)
- パソコン (これはほぼ必須です。何度もプレゼンします。その時にパワーポイントを作ったり、音楽を探すうえでかなり使います。絶対持っていきましょう。)
- ノート (英語の原稿を何回か考えないとけません。その時にあると便利。)
- 飛行機用枕とアイマスクとスリッパ (どれもあれば飛行機でかなり使えます。あと枕はもしホストファミリーとキャンプに行くことになった時も使えるので、かさばるかどうかわよりも自分にとっていい柔らかさかどうかを判断基準にした方がいいです。)
- 水筒 (ユタでは喉がすぐ乾きます。水を入れるようにしておくといいと思います。ただし飛行機に乗るときはスーツケースに入れておく方がいいと思われます。)
- ポケモンのグッズ (主に子供のいる家ですが、ポケモンはとても人気があります。たぶんポケモングッズ、ポケモンカードとかゲームとか持っていくとかなり盛り上がると思います。持っている人はぜひ。)
- トランプ、UNO (行き帰りの空港での待ち時間はかなりあります。みんなで盛り上がるカードゲーム系を持っていくとなかなか楽しめます。)

3. 南ユタ大学 (Southern Utah University) について

基本的に午前中は教育大の生徒たちで固められて ESL という英語というかコミュニケーションの関しての授業を行いました。これは先生によるかもしれませんが私たちの先生の英語は聞き取るのに苦労しました。頑張って食らいついていくのが良いです

が、大枠だけを何となく理解することも必要です。授業内容は主にパワーポイントを用いたプレゼンで、そのほかに英語のアイスブレイクを行ったり考えたり、たまにお遊びをしました。ちなみに Wi-Fi は原則ホストファミリーと大学には常設されており、利用可能なのでインターネットは開けます。ランチは一時間くらいあり、大学内にもいろんな施設があります。大学の学食のようなバイキング形式のカフェテリア、ハンバーガー屋、ピザ屋、コンビニ等々。しかしホストファミリーによっては昼食を持たせてくれる家もあります。



(アメリカンなので口に合うか合わないかはわかりませんが。) ちなみに値段がよくわからないもの、また、メニューが電光掲示板しかなく、値段が見えにくいものなどありますが、あまりお金のことは気にせず注文したほうがいいです。大学内にはいろんな建物や施設があります。敢えてここでは記述しないので行ってからの楽しみにしてください。午後からはいろんなアクティビティを行いました。ブライスカニオンに行ったり、小学校で日本についてのプレゼンを行ったり、またその準備をしたり、ユタの学生たちと意見交換を行ったり、あと知らない人に話しかけようといった企画や自分でビデオレターみたいなものを作ったりもしました。大学のプログラムは4~5時くらいまでには終わります。なお送り迎えはありがたいことに毎回ホストファミリーがしてくれます。感謝しましょう。

4. ホストファミリーについて

まず第一に言い方が悪いですが、ホストファミリーにはいろんな人がいます。自分にとって当たり的人也いればあんまり合わない人もいます。ただし、あくまで間借りさせてもらっているだけであることを考えの根底に置いておいてください。

ホストファミリーには様々な家族がいます。子供のいると子どもとも親ともよく話すようになり、子どもとは一緒に遊ぶので結構いいです。疲れますけど。(笑) ただし子供のいる家庭はあんまり多くありません。ホストファミリー10世帯に対して子供がいる家庭は3世帯くらいでした。こればかりは運任せです。(苦笑) ホストファミリーは1人に対して1世帯か2人に対して1人世帯のときもあります。これもおそらくくじ運です。職業も大学の関係者だったり、公務員だったり、私のところはジムの経営者でした。(笑)

ここからは自分のホストファミリーについて話します。私のホストファミリーは妻、夫、7歳、4歳の女の子と2歳の男の子、といった家族構成でした。職業は奥さんと旦那さんの二人でジムを経営していました。そのせいか二人ともかなり運動やらエクサ

サイズやらが好きで一緒に参加しました。かなり鍛えられました。そのジムに放課後毎日行って子供たちと戯れました。子どもは本当に言うことを聞きませんでした。(苦笑)でも、まあかわいいです。奥さんは何度も私に話しかけてくれたので英語能力を向上させるためにはなかなかよかったです。「何でもやりたいこととかやりたくないこととか言ってね。できるだけ協力するよ!」と言ってくれたのでその言葉に甘えました。本当に可能な限り私のやりたかったことを叶えてくれました。ただし、夜遅くまでジムを運営していることと子供がたくさんいることから、買い物などに行くのは基本的に夜 10 時以降になってしまいます。ミッドナイトショッピングになります。ホストファミリーは全体的にモルモン教であり、毎週日曜に教会に話を聞きに行ったりします。あと食事を食べる前と寝る前にはお祈りの時間みたいなものがあります。参加するかしないかは個人の自由ですが私のところの家族は推しが強かったので全部参加しました。

「When in Rome, do as the Romans do.」であるのでできるだけ宗教のイベントにも参加したほうが良いと思います。休日にキャンプに行ったりハイキングに行ったりしました。他のホストファミリーは話によるとボウリングに行ったり、ホストファミリーのお母さん、つまりおばあちゃんに会ったりしたそうです。

5. プログラムに参加してみて

今回、この短期留学プログラムに参加してみて思ったことは自分の英語がいかに伝わらないかということです。日本で習っているとはいえ、実践は緊張して文法もめちゃくちゃになるし、単語もパッと出てきません。そして何より発音が日本人と現地の人とでは雲泥の差です。向こうの人の発音をよく聞き使える英語を身に着けるよう努力するといいいと思います。あと、わからないことははっきりわからないといい、食らいつくこと。これが大切です。アメリカでは謙虚さや遠慮は足枷になります。自分から食らいついていかないとやっていけません。今回の短期留学から学べることを 120%吸収していくつもりで外国人に話しかけていった方がいいです。最初の一週間はかなりつらいものを感じるかもしれませんが、それさえ乗り切っしまえばあとは案外どうにかかなります。頑張ってください。

